

銚子スポーツタウンコラム（５）ふるさと銚子を紹介 木樽 正明



故郷・銚子の魅力を、木樽正明さんの目線で紹介するコラムです。

私が生まれ育った銚子を紹介しましょう。皆様はすでにご存じの事と思いますが、私の目線でお伝えしたいと思います。銚子は千葉県の最東端に位置している関係で、尋ねてくる人は必ず“銚子は遠いですね”の言葉が返って来ます。私は悔しさと冗談を交えて“当然でしょう。銚子はアメリカに一番近いのだから。銚子の市民は半分くらい英語をしゃべるんだよ”と。どの有料道路を降りてからも約１時間かかるので、確かにそんな感じになるのでしょうか。そういえば、今は亡き弟分の村田兆治君（元ロッテ）も同じことを言っていましたっけ。

3方を海に囲まれている銚子は日本で流域が一番広く、長さは２番目の利根川の河口に開けた街で、銚子沖では黒潮（暖流）と親潮（寒流）がぶつかり、そこに、利根川の真水が注がれて植物性のプランクトンの大量発生もあり、多くの魚が獲れて日本一の水揚げ量を誇っているのです。江戸時代から水運が発達し、銚子の魚やヤマサ、ヒゲタの醤油、そして、東北からの物資も銚子経由で江戸まで運ばれて行ったのです。そんな関係もあり、銚子市は千葉市に続いて市制をしいたのは千葉県で２番目の早さだったのです。銚子には港（魚市場）は外川港を入れると４か所有って、それぞれ水揚げする魚の種類で入る港が違います。私が生まれ育った実家から２００m程の「第二魚市場」はイワシ、サバ、サンマなど、銚子を代表する魚が大量に水揚げされて、船から大型トラックに直接クレーンで積み込まれて、私は今でもワクワクしながら観ています。銚子の風物詩の威勢が良く活気が有って好きですね。皆さんも機会があったら是非見学してみたいかがですか。又、正月になると「初日の出が日本一早い」ので有名で、当日は５万人以上の方々が見えています。春キャベツの収穫量も日本一と、自慢話には事欠きません。

銚子は海洋性の気候で都会と比べ「夏涼しく、冬暖かい。±５℃」で、生活は勿論、スポーツを楽しむには最高の条件を備えているのです。是非、銚子スポーツタウンで腕を磨き、美味しい魚を食べに来ては如何ですか。それでは、又、お会いしましょう。